登小だより

睦月号

登立小HP

文責 校長
田﨑正明

あけまして おめでとうございます

令和六年が明けました。元旦は、日本晴れで、ご来光も例年より輝いていたように感じました。清々しさとともに希望実現への意欲が膨らむ年始となりました。さて、今年は「辰年」です。辰年は、万物が振動し、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。辰年の象徴「龍」は、活力、上昇など、生への意欲をかき立て、また、一つなぎで途切れないことから「縁をつなぐ、縁が途切れない」ことの例えとされ、古くから縁起ものとして重宝されてきました。辰年・龍にあやかり、相手意識を高く持ち、他者との豊かな関係をもとに築いた「縁」を大切にしながら、子供たちを自己成長・自己実現に導ける教育活動に取り組んでまいりたいと考えます。皆様方とともに本校の教育を「ととのえ」ながら、心豊かで、高い学びの力を備えたのびっ子の育成に邁進してまいる所存です。本年も、よろしくお願いいたします。

【始業式では】はじめに、能登半島地震の犠牲となられた方々への思いを馳せ、お亡くなりになられた方々への黙祷を捧げました。心よりご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を願います。【のびっ子たちは】今回の災害に敏感で、早くものびっ子会が中心となって、自分たちにできる復興支援活動へ動きだしました。独善とならないよう、高い相手意識をもって、活動を展開していきたいと思います。

三学期は「笑顔大作戦」作戦完了の学期です。自分の中にある元気・勇気・優しさ・力をいつも感じられるのびっ子でいてください。

卒業の足音

六年生が大矢野中学校へ体験入学に出かけました。集合場所の体育館では、他校の子ども達と混じり、はじめは緊張気味でしたが、交流活動を通して、互いに声を掛け合い、笑顔で接する姿がとても印象的でした。交流会の後は生徒会の皆さんから、学校生活についての紹介がありました。切通校長先生から「三学期は中学一年生の0学期」という言葉をいただいたのびっ子たちでした。将来の自分の姿を思い浮かべながら、少しの緊張と大きな期待・希望を抱きながら時間を過ごしたようです。とても貴重な体験だったように感じます。卒業の足音も聞こえだしたようです。

三学期の主な行事

2月11日建国記念の日
13日 新入生体験入学
15日 人権集会
20日 学力検査・国
21日 学力検査・算
22日 授業参観・総会
23日天皇誕生日
3月 1日 お別れ遠足
5日 児童総会
7日 地区児童会
21日 修了式
22日 卒業式
28日退任式

三学期の教育指導について

私たちは学期末に教育指導の課題と成果の把握に努めます。そして、その結果を生かしながら、大切にしていることは、「課題を解決することにデー」として、校内での日常会話をできるだけ英語を使うことをすすめています。「Hello」「How are you」「good morning」「Let's play soccer」など、のびっ子の声が響く一日となりました。給食時間も放送委員会と一緒に献立の発表も英語で行いました。

給食の献立紹介も英語で

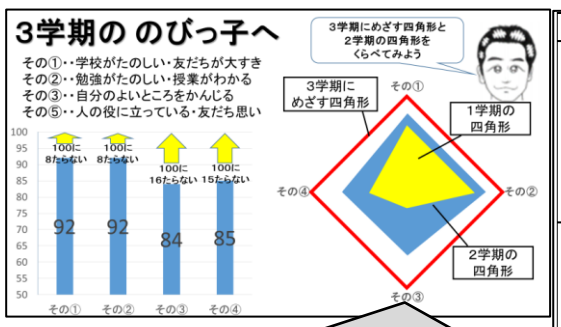
りりィ先生とのびっこ

月曜日は「English day」

外国語（英語）の学習の充実において取組を始めました。日常生活で英語を使う機会を増やし、慣れ親しめるように、毎週月曜日を「イングリッシュ・

なかよしアンケートの結果より

人間関係・自己肯定感・有用感・学習状況



一学期との比較において、向上の評価項目が増えました。また、子供たちの意識も目指す四角形に近づいています。学校生活における活動のすべてを自分事としてとらえ、「すすんで、自分で、自分たちで」の具現化を図りたいと考えます。

2学期教育反省の結果より

↑（向上）↗（若干向上）→（横ばい）

重点事項	努力事項	学期比較
豊かな心の育成	①基本的な生活習慣の定着	↗
	②命を大切にする心と規範意識の育成	↑
	③いじめ・不登校の未然防止	↑
	④人権教育の推進と充実	↗
	⑤道徳教育の深化	↗
	⑥特別支援教育の充実	↑
	⑦保・小・中連携の充実	↑
確かな学力の育成	⑧基礎学力の定着と「学び」の基盤づくり	↑
	⑨主体的・対話的で深い学びを生む授業づくり	↗
	⑩学び合いを深める言語活動の充実	→
	⑪個別指導の充実と家庭学習の習慣化	↑
	⑫読書活動の充実	↑
健康な心身の育成	⑬命を大切にする心を育む指導の徹底	↗
	⑭食育の充実	↗
	⑮体力づくりの推進	↑
	⑯健康診断結果の事後措置の徹底	→
	⑰環境に対する意識の向上	↗
社会に開かれた教育課程の実現	⑱関わり合い活動の充実	↗

連携～大矢野中校区学校保健委員会～

学校と家庭、地域が一体となって、子供たちの生活と学びをより豊かにするための会議が発足しました。子供たちの健康に関する現状をもとに課題の把握とその改善にむけた方途を示すことを目的とします。子供たちが主体性に培いながら豊かな学校生活を送るためには、心づくりや生活習慣の定着に基づいたライフスキルの向上が重要であると考えます。このことについて、大矢野中学校区において、学校だけでなく、家庭地域、行政、そして、子ども達も参画し、五者連携のもとで進めていくという構想の実現です。目指すは、子供たちの中学校卒業時における進路選択。子どもたちが自らの意志で行い、自己実現を図る一歩を踏み出せるように資質・能力を小学校入学時から段階的、そして、大中校区で一体となって育成できればと考えます。大矢野町が一つとなり、同じ方向性をもって教育指導にあたっていくことで、上天草市の教育理念である「ふるさとに誇りを持ち未来を切り拓く人づくり」の一翼を担うことができると考えます。皆様方の深いご理解とご協力をお願いいたします。

校区内すべての児童生徒を対象にしたアンケート調査の結果をもとに、課題の把握に努めています。

薬剤師、歯科医師、保健師ザし、なま方々をオブザーバーにお迎えだ進めをお願いを会議にしました。